

仕事の中に「感動」を！（7）

～ 学生さんから頂いたもの ～

◇お客様からのご相談

代理店の仕事をしておりますと、お客様から様々なご相談が寄せられます。今年の3月、私どものお客様から、ご子息の就職について相談がありました。「就職活動をしている息子が、△△生命保険会社から内定を頂いたようです。ただ、私どもも全く知らない業界なので、息子の相談に乗ってやってもらえませんか。」という内容でした。私は「ご子息ご自身も相談したいと言うことでしたら、喜んでお引き受け致します。」と快諾させて頂きました。ご子息のMさん本人から電話があり、3月某日に、事務所で会いすることになりました。

◇背景説明

私の略歴を申しますと、大学時代に「保険論」のゼミを専攻し、その後大手生保会社に就職しました。その会社で5年間のサラリーマン生活を過ごした後、今からちょうど10年前の1996年に、OSSに入ることになりました。そのお客様も、私が大手生保でサラリーマンをしていたことを知った上でのご相談でした。

◇いざ、面談！

当日約束どおりの時刻に、MさんはOSSの事務所にお見えになりました。Mさんに私の略歴をお話しさせて頂いた上で、生保業界の動向、私のサラリーマン時代の経験等をお話しさせて頂きました。私自身が生保会社勤務時代に、実際に採用に関わったこともありまので、採用に関する会社側の事情、考え方もお伝えしました。Mさん自身からも、就職に関する基本的な姿勢や、生保業界に対する疑問や不安等をお話し頂きました。Mさんの熱意に引っ張られるように、こちらもMさんのお話しに耳を傾け、真摯にお答えさせて頂きました。Mさんは、会う人全てに良い印象を与えるような好青年でした。お話ししていてもとても楽しく、あっという間に2時間以上が経過していました。最後にMさんから、「もう少し就職活動を続けてみます。」との力強い言葉がありました。

◇お礼状

その後、しばらくした5月初旬にMさんから以下のようなお礼状が届きました。

「ご無沙汰しております。〇〇大学4年のMです。先日はお忙しい中わざわざ時間を割いて頂き本当にありがとうございました。連絡が遅くなってしまい、申し訳ございません。

先日、岡武様からお話を聞かせていただきました後に、自分自身でよく考えた結果、△△生命の内々定を辞退することを決心しました。そしてその後就職活動を続けた結果、××、◇◇、□□から内々定を頂くことが出来ました。その中から自分なりに考えて、□□にお世話になることにしました。

今思えば、あの日岡武様にお会いさせて頂いていなければ、私は間違いなく△△生命に就職していたらと思います。この選択が正しかったかどうかは、自分が実際に会社に就職して働いてみないと分からないものではありますが、自分の将来について考え悩みながらも必死になって就職活動を続けたこの一ヶ月強の期間で私は大きく成長することが出来ました。また、頂いた本（※）も就職活動中に何度も読ませて頂きました。どうもありがとうございました。（※筆者注、当日『未来を拓く君たちへ』田坂広志著をプレゼントさせて頂きました。）

頂いた本にも書いてありましたが、会社に入ってからがようやく本当の人生のスタートだと思っています。ですから、私は会社に入ることにのみ満足せず、入社した後も日々努力を重ね、自分自身の成長と世のため人のための両方に繋がるような仕事をしていきます。岡武様には今後とも色々な面で世話になりたいと思っておりますので、何卒よろしくお願い致します。本当にありがとうございました。

〇〇大学経済学部4年 M」

◇原点に戻って

Mさんとの出会いは、私自身に取りましても“仕事の原点”を振り返る良いきっかけになりました。学生時代になぜ生保会社に就職することにしたのか、その後、どんな思いで保険代理店に転身したのか、といったことを思い返してみました。いずれの時も、「本当の意味でお客様本位の保険業界にしたい。」という強い思いを持っていました。Mさんのお陰で、仕事の原点に思いを寄せることができました。Mさん本当にありがとうございました。また、Mさんの社会に出られてからのご活躍を心よりお祈りしております。こちらもMさんに恥ずかしくないよう、日々の仕事にまい進する所存です。

岡武和暁

保険のOSS代表取締役

京都市山科区音羽前田町5-2-1

TEL 075-502-8451(コマルニハヨコイ)

okatake@oss-ins.jp